

線

HANASAKI
LINE
MAGAZINE

点。 と

花 咲

TAKE FREE

100周年記念
特別号



1971年
撮影／原田 伸一



2018年
撮影／大滝 恭昌



地球探索鉄道

花咲線

北海道根室市

登場人物



ナゾの美女・テツコ
花咲線の大ファン。
明るい性格だが、将来への不安も。



地球少年・花咲くん
花咲線一帯の自然や
野生動物に詳しい少年。



高田屋コーヘイ
自称、高田屋嘉兵衛の生まれ変わり。
国際的なビジネスマンらしい。



駅長さん
花咲線の守り神か、ゴーストか？
それともコスプレおじさん？

場面1

時を駆け抜けて

釧路発根室行、キハ54形気動車の車内。
ぽつんと二人で座っていた花咲くんに、テツコが声をかける。

テツコ

「キミ、どこへ行くの？」

花咲くん

「両親が別寒辺牛湿原で出会ったと聞いていたので、いちど見てみたいなあと思って、それが何か？」

テツコ

「ふくん、まあそんな恋も在るかもね。ちよつと、珍しいけどね。私は花咲線全通100周年って聞いて、無性に乗ってみたくなったの、それだけ」

花咲くん

「100年ですか？人間って好きですよ、100年。僕らは人間に長生きの象徴にされていますが、いくら何でも1000年はないですよ」

テツコ

「何のことかわからないけど、まあ、いいでしょ。とにかくキミも花咲線に乗ってみたかったんでしょ？ところでお名前は？アタシはテツコ。キミは…そうね、胸の地球バッジがイケてるから、地球少年って呼んでいいかな。地球少年、花咲くん、どう？」

花咲くん

「どうでもいいです。好きにしてくださいクルッ」

かみ合わない会話を続けるテツコと花咲くん。
後ろのシートから突然、おじさんの声がする。

駅長

「100年は、過ぎてしまえば短いものです」

テツコ

「ウワッ！ビックリした」

花咲くん

「クルッ、あなたは誰ですか？」

駅長

「お客様を驚かせましたか、申し訳ございません。私、駅長でございます。お二人があんまり楽しそうでしたので、つい聞いてしまい、次第に若いときのことを思い出しましてね」

花咲線100周年スペシャル

へつづくよ、 花咲線





テツコ

駅長

テツコ

駅長

花咲くん

駅長

花咲くん

駅長

花咲くん

駅長

「へー聞きたいな、どんな話？」

「花咲線全通の日、私は新婚だったもので、あの日も妻の弁当が楽しみでしたね」

「いい話ではあるが、今じゃなくてもいい情報……」

「ついに西和田～根室間が開通し、念願だった釧路～根室間の全線が開通したあの日。つまり、今日の花咲線が生まれた日です。あれは大正10年8月5日でしたね。根室駅前に歓迎するたくさんの人々集まっていました。それは、それは、晴れがましい日でした」

「え？駅長さん、それ、いつの話ですか……？」

「昭和になり、リンドバーグが根室に飛来したことがあります」

「え、飛来？」

「北太平洋を渡ってね」

「すごい鳥ですね、リンドバーグって!!!」

「いえ、鳥じゃなくて飛行機。ロッキード・シリウス号が飛来したとき、根室落石無線局がモールス信号を送ったんですよ。歓迎す……ってね。こうした根室落石無線局の技術力は世界にも高く評価されたんですよ」

2 時間半の車内ドラマ

地球の未来



駅長 「まさか戦争になるなんて、その時は誰も思わなかった」
花咲くん 「駅長さん、あなたは100歳、いや120歳は超えているのでは……」

テツコが駅長のほうを振り返ると、誰も居なかった。

そこに旅行者風の男、コーヘイが来て、置忘れの懐中時計に気づく。

コーヘイ 「これ、お知り合いの時計では？」

テツコ 「そのままにしときましょう。〃車内のお忘れ物にご注意ください」とか言つて、自分で忘れたらダメでしょ。駅長なのにね〜ふふ。え〜と、ところで、あなたは？」

コーヘイ 「彼は、もう戻つてこない気がしますね。いや、彼は花咲線の時間と一緒に生き続けている、というべきか。あ、僕ですか？ 申し遅れましたが、僕は高田屋コーヘイです」

テツコ 「あ、なんかそういう名前の人がいたわ、うん、いたいた、幼稚園の時かな……」

コーヘイ 「ちよつと違うかな、僕がリスペクトしているのは高田屋嘉兵衛です。その方を好きすぎて、今では、嘉兵衛の生まれ変わりと思つてまして……」

花咲くん 「たしか、江戸時代の廻船商人で、国後島と択捉島の間

コーヘイ 「それだけじゃないよ。嘉兵衛は、コトバや国を超えて心を通わすことができる人物だったと思うな。ロシア軍艦ディアナ号の艦長が捕らえられたゴローニン事件の時、副艦長リコルドは、嘉兵衛と過ごすうちに深く信頼するようになつたし、それが事件解決につながつた」

テツコ 「やつぱり、ハートが大事つてことかな」

コーヘイ 「そう、僕も世界を渡り歩いて、いろんな国の人と会つたけれど、信じられる相手かどうかを見極めることが何よりも大事。最後はやつぱりハートだよね」

花咲くん 「根室は空も海も、世界とつながってきたんだね」
テツコ 「お、地球少年、いいことじゃん」

場面2

地球を感じて

武佐駅を過ぎたあたりから、車窓は緑一色に。

どんどん濃くなる霧の中を、魔法の列車のように走り続ける。

花咲くん 「花咲線つて、線路の脇まで木がうつそうと茂つていておもしろいですね。ジャングルの中を走っている感じがします」
コーヘイ 「この森の中を出たら、やがて海が見えるはず。その先に湿原が広がっている。変化に富んでいて、おもしろい鉄路だと思ふな」

自然のエナジーに呼応して

地球少年・花咲くんのテンションがどんどんあがっていく。

花咲くん 「厚岸湖と別寒辺牛湿原は、ラムサール条約登録湿地ですからね！ 正式には、〃特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約〃っていうんですが、水鳥っていうと僕らの仲間の話です。僕らの目線で魅力的な自然がたくさん残されてますよ、大切にしてください、という場所です。こはいわば、生き物たちの大都会です」

コーヘイ 「さすが地球少年だ。水鳥目線で大都会ね。なるほどー」
花咲くん 「さつきから、海霧がすごいですよね！ これは春から夏のこの辺りではいつものことらしいです。このせいで気温が低下し高い山と同じ気候条件になります。湿原なのに高い山の気候になり、高山植物が繁殖するんです。超ユニークです!!!」

テツコ 「鉄道ファンとしても、車窓から目が離せないね。しかも一両運転だから、前方と後方の窓から、線路がバッチリ見えるのもいいよね。ああ、今、私、湿原の中を走つて〜と実感できる。臨場感がハンパないよね」

厚岸駅を過ぎ、列車はどんどん別寒辺牛湿原の中へ。

花咲くん 「あ、湿原だ!!! ここで生まれたんだ、僕」

テツコ 「それは違うでしょう、落ち着いて。タンチョウじゃないんだからさ、タンチョウ……なの？」

花咲くん 「お父さん、お母さん、生意気ばかり言つてごめんなさい。ここで僕を育ててくれたんだね、ありがーークルオー」
コーヘイ 「え、なに？ 反抗期？」

さつきまで大感激していた花咲くんの姿が見当たらない。

テツコ 「あれ？ 地球少年、糸魚沢駅で降りたかな、いなくなっちゃつたよ」



コーヘイ 「挨拶くらいしてはしかつたな、イマドキの若者はこれだから困る」

懐中時計を置いたあたりに、ぬっと駅長現れる。

駅長 「彼はまた皆さんに会いに来ますよ。恩返しをしなくちゃいけませんから〜ははは」
テツコ 「駅長、居たんかい！」

湿原の真ん中では、列車にむかっていつまでも翼をふる一羽の若いタンチョウがいた。

糸魚沢駅、茶内駅あたりから牧草地が広がる。

テツコ、遠い目をして、しんみり語りだす。

テツコ 「花咲線は、これからどこへ向かって行くのかな？」

駅長 「根室駅でございます」

テツコ 「・・・そういう意味じゃなく！」

コーヘイ 「テツコさんが気になっているのは、未来のことですね」

駅長 「そうでしたか、失礼いたしました」

テツコ 「私は駅長やコーヘイさんに教えてもらって、花咲線はいろんな時代を駆け抜けてきたことを知ったわ。すると、この先が気になってきたの」

駅長 「この鉄道は時代を運んできた、と言って過言ではございません。1960年代まで鉄道が唯一の陸上交通手段ですから。人、モノ、生活物資のすべてを休むことなく運んできたのです」

テツコ 「そして今、私のような旅人の夢を運んでいるわけね」

コーヘイがふと車窓から外を見ると、

タンチョウが列車を追うように飛んでいた。

花咲くんが、大切なことを言い忘れたのだと、

コーヘイは気づく。

コーヘイ 「そういえば、花咲くんが、わざわざこの列車に乗ってきたのも彼なりの理由があったのかも」

駅長 「彼は花咲線の未来へのメッセージをくれたんですよ。彼が降りた別寒辺牛湿原あたりは、野鳥たちの楽園で世界が守りたいと願う湿原です。その中を走れば、いのちを育む自然や地形の素晴らしさが、本当によく分かります」

テツコ 「私たちが向かっているのは終着駅だけど、この地球や社会の始発駅なのかもしれないのね」

駅長 「なるほどー端っこであり、未来の先端でございますね」

コーヘイ 「だったら、もっと先端に行かなくちゃね。僕は世界のローカル線に乗ってきたけど、花咲線はホントいい線いつてます」

テツコ 「あら、私もそう思ってたけどー」

駅長 「この2時間半は、想像力を発揮するのにちょうど良い長さです」

コーヘイ 「そう、乗っていると、アイデアがヒラメクよね」

話に花が咲くみんなを乗せて、列車は根室の市街地へ進んでいった。

コーヘイ 「もっと夢を見られる花咲線であってほしいな。たとえばこの素晴らしい車窓風景をエンターテインメントにできないだろうか。現実の風景とバーチャル・リアリティが連動して未知の体験をするとか」

テツコ 「だったら、アバターが列車に乗って、オンラインで乗車体験とかねー」

駅長 「いっそ、空飛ぶ花咲線というのはいかがでございましょう」

コーヘイ 「飛んでみたいですね、花咲くんみたいにね。いやリンドバークかな」

テツコ 「これはテツコとして言わせてもらうけど、鉄道は単なる乗り物じゃない。線路や列車は地域のインフラであり歴史であり、駅舎なんてまさに顔でしょ。失っちゃいけない理由がそこにあるの」

駅長 「そうです、何百年だって生き続けなくてはねーふふ」

一瞬、駅長の正体を見た気がして、ゾクツとするテツコ。

一方、コーヘイは熱く語り続ける。

コーヘイ 「きっと日本も都市の二極集中の時代から、地方が面白い時代になると思うな。ここで暮らしたいという人もきっと増えるはず」

テツコ 「地域の皆さんにも、普段から楽しんでもらえる場になってほしいな」

コーヘイ 「そう地域色が大事です。ヨーロッパでもそうでした。ここなら、花咲がに列車とか、蛇口をひねるとミルクがでる不思議な列車とか・・・」

テツコ 「グルメ路線ってことねー」

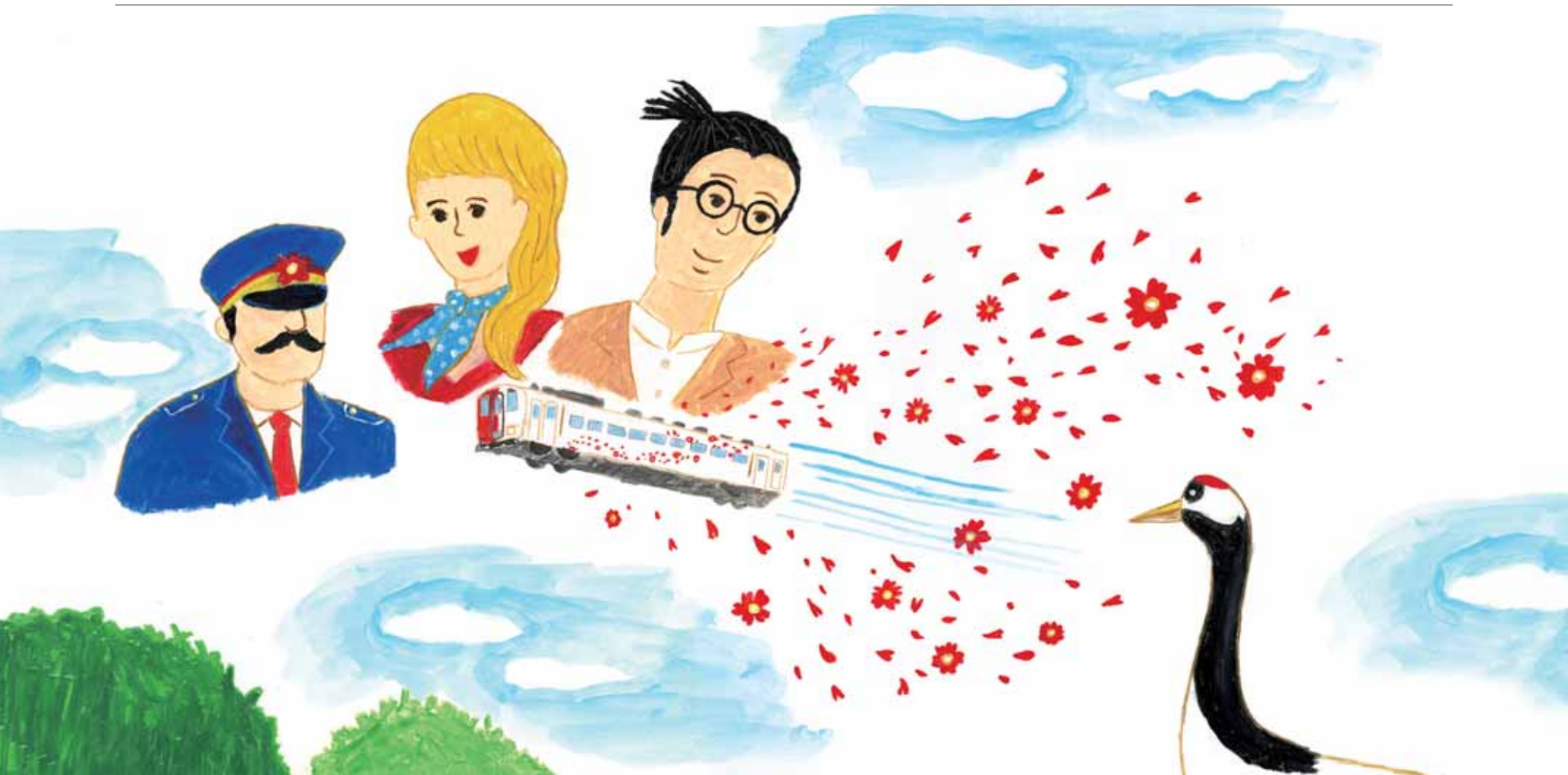
コーヘイ 「AIが進化すれば、人的なサービスもできるし、自動運転も夢じゃない。そのうち列車自体がロボットになって友達ちになつてくれたりして」

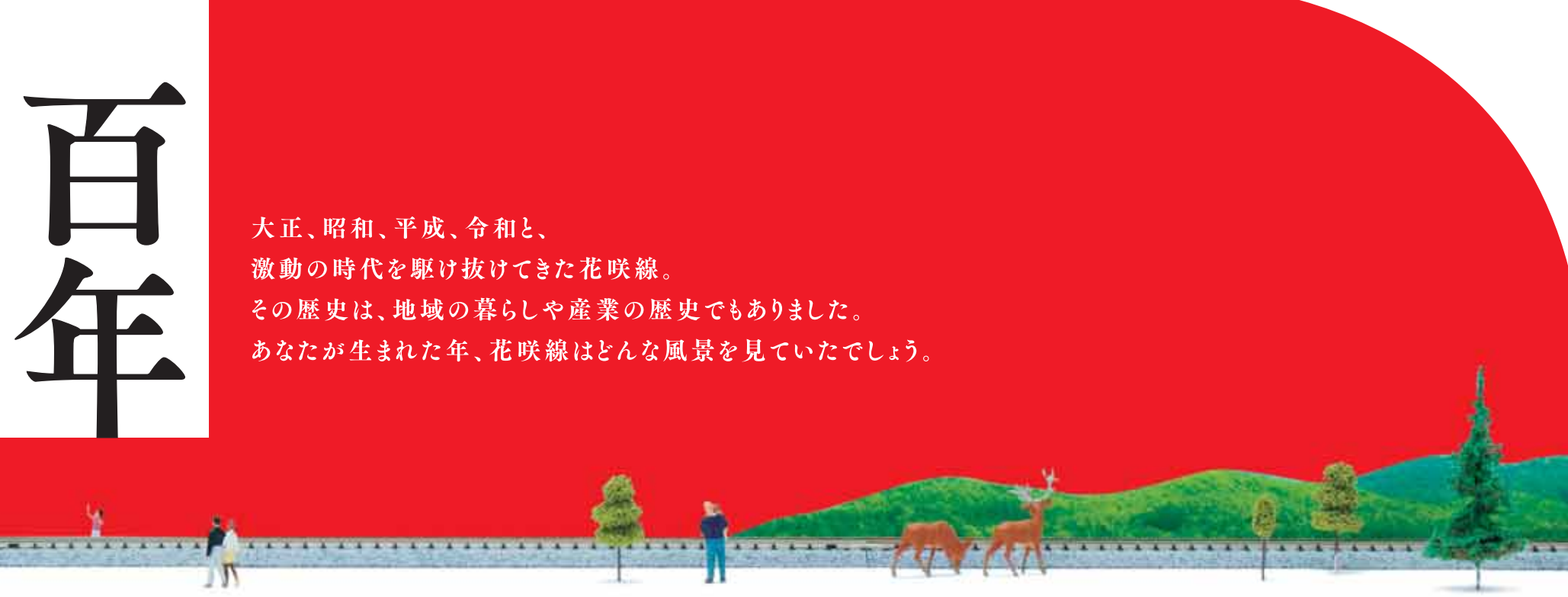
駅長 「すてきでございますー」

テツコ 「駅長！一緒に未来へ行こう、なんかワクワクしてきたわ！」

駅長 「はい、行き先は、つぎの100年でございます」

駅長の声に応じて、列車は大きな返事をしたが、みんなの耳には警笛に聞こえた。





百年

大正、昭和、平成、令和と、
激動の時代を駆け抜けてきた花咲線。
その歴史は、地域の暮らしや産業の歴史でもありました。
あなたが生まれた年、花咲線はどんな風景を見ていたでしょう。



花咲線運輸営業所発足
(平成3年7月)



釧路駅にて準急「ノサップ」運転テープカット
(昭和34年9月)



厚岸停車場
(大正10年8月)



根室停車場
(大正10年8月)

大正10年 (1921)	8月5日	根室線西和田〱根室間が開通し、中間に花咲駅開業 滝川〱釧路〱根室間が全線開通し、釧路本線から根室本線に改称 根室保線区を設置
昭和6年 (1931)	9月18日	満州事変勃発
9年 (1934)	8月12日	根室〱根室港間2・6km開業
12年 (1937)	10月30日	標津線全線開通
20年 (1945)	8月15日	太平洋戦争終戦。ソ連による北方四島の占領はじまる 以降、不法占拠状態が続く
25年 (1950)	2月1日	厚床鉄道診療所を設置(昭和28年4月1日廃止)
34年 (1959)	9月22日	釧路〱根室間準急「ノサップ」運行開始
36年 (1961)	2月1日	昆布盛駅(旅客駅、駅員無配置)開業 東根室駅(旅客駅、駅員無配置)開業 釧路〱根室間準急「第1ノサップ」「第2ノサップ」増発
42年 (1967)	5月1日	急行「阿寒」釧路〱根室間延長運転
43年 (1968)	10月1日	根室〱札幌間急行「ニセコ3号」愛称変更
47年 (1972)	2月3〱13日 7月22日〱 8月25日	冬季オリンピック札幌大会開催 根室〱厚床〱中標津間 夏季臨時列車「おだいとう観光号」、 根室〱厚床間を急行「ノサップ」に併結し運転
48年 (1973)	6月17日	根室半島沖地震が発生し全列車運転中止のため 乗客約1300人が7箇所の列車内で仮泊(釧路・根室 震度5、帯広 震度4)
49年 (1974)	7月4日	根室〱札幌間 急行「ニセコ2号」定期格上げ
51年 (1976)	3月2日	釧路〱根室間SL(C58 197)の運転が最後となった
61年 (1986)	11月1日	北海道から完全に蒸気機関車SLが消える
62年 (1987)	4月1日	新型気動車(キハ54型)導入
63年 (1988)	3月13日	国鉄分割民営化で北海道旅客鉄道株式会社になる 武佐駅開業



根室のまちは
歓迎ムードに包まれた



シリウス号からボートへ
乗船するリンドバーグ夫妻

昭和6年 8月
(1931)
リンドバーグ夫妻が
根室に飛来

根室エリアの

出来事

と暮らし

HISTORY OF NEMURO AREA

車窓

HISTORY OF HANASAKI LINE



花咲線ラッピング列車登場
(平成30年11月)



SL根室号 80周年記念運行
(平成13年7月)



北海道東方沖地震発生
(別当賀～落石間)線路
(平成6年10月)



快速「はなさき」釧路～根室間新設
(平成4年7月)



花咲線全面ワンマン化
(平成3年7月)

平成元年(1989)	4月29日	標津線運輸営業廃止、お別れセレモニー
3年(1991)	8月16日	台風14号による水害(別保～根室間)「被害」運休10本・バス代行16両
3年(1991)	7月1日	花咲線運輸営業所発足(東釧路～根室間132.4km)
4年(1992)	12月6日	花咲線全面ワンマン化。愛称が「花咲線」になる
4年(1992)	7月1日	花咲線専属車両にサイドロゴマーク(はまなす)装着
4年(1992)	2月7日	花咲線(釧路～根室)現車走行試験列車運転
4年(1992)	7月3～5日	釧路～根室間快速列車「はなさき」新設
5年(1993)	7月15日	花咲線1周年記念行事として特急車両(183系)運行
5年(1993)	11月19日	釧路～根室間(3両編成で1日2往復)
6年(1994)	10月4日	「岬めぐり」ツアー特急(183系)車両及びバスによる花咲線沿線の旅
6年(1994)	10月4日	花咲線「快速列車」座席改良(リクライニング)車両落成式
10年(1998)	12月1日	北海道東方沖地震発生 花咲線・釧網本線を中心に被害(被害合計365箇所)
10年(1998)	12月1日	花咲線(門静～厚岸間)新本線により開通
12年(2000)	7月4日	第1回花咲線沿線観光振興協議会(根室)
13年(2001)	8月5日	花咲線全通80周年記念式典及び根室駅まつり
13年(2001)	9月22日	根室駅にて記念植樹
24年(2012)	4月	ルパン三世ラッピング列車運行開始
30年(2018)	6月1日	「日本最東端の鉄路『根室本線花咲線』を守ろう!」プロジェクトでクラウドファンディングを実施。約3億円の寄付金が集まる
30年(2018)	11月30日	地球探索鉄道花咲線ラッピング列車運行開始
30年(2018)	11月1日	2両編成運行(利用可能性調査実施)
令和元年(2019)	7月13日	根室駅に黄色いポストが設置される
令和元年(2019)	9月16日	厚床駅開業100年
令和元年(2019)	10月	地球探索鉄道花咲線ラッピングバス・タクシー登場
令和元年(2019)	11月25日	2両編成運行(利用可能性調査実施)
3年(2021)	8月5日	「道東森の恵み号」などを使用し2往復
3年(2021)	8月1日	花咲線全通100周年



花咲線専属車両に
サイドロゴマーク(はまなす)
(平成3年12月)



根室で積んだ大量の魚の脂で、
貨車が空転することも



根室駅前
人や車で賑わうようになった



焼け跡の根室町市街地に
立てられた告知板

昭和20年 7月14日
(1945)

釧路・十勝・根室地区に
米艦載機による空襲

昭和31～32年

「花咲線」の愛称を告知するポスター

釧路～根室間の愛称が「花咲線」に決定(1991年7月)。
はまなすが咲き誇るポスターが制作された。

根室線鉄道全通 記念の絵はがき

記念のスタンプが押され、
根室停車場などの写真を中心に、
美しい彩りの図版がちりばめられ、
全通当時(1921年)の
まちのお祝いムードが伝わってくる。



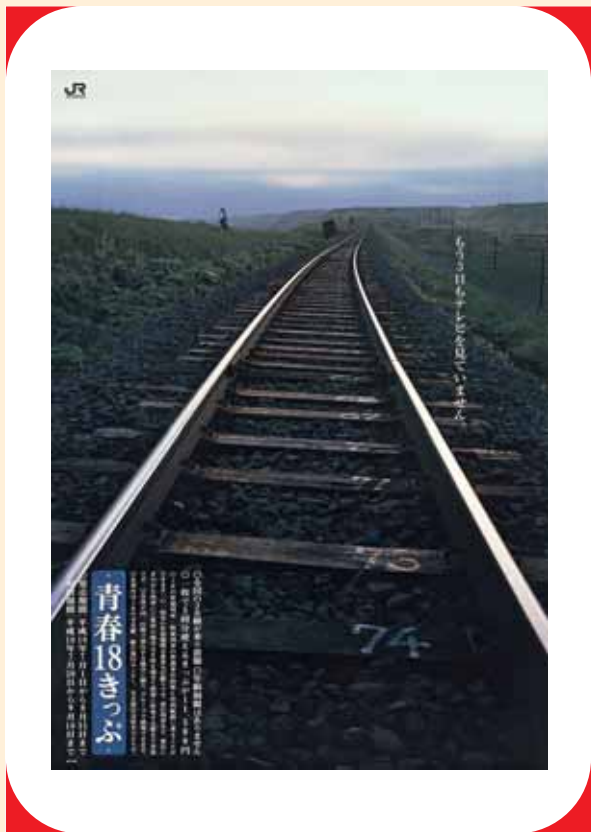
花咲線

ギャラリー

フォトジェニックな鉄路と夢のある愛称は、つねに人を魅了してきました。
しばし花咲線アートを 즐기みてください。

JRグループ「青春18きっぷ」ポスター

旅情あふれる花咲線沿線の風景は、青春18きっぷのポスターになっている。
「おみやげに持って帰れないものがありました。この風景です。」など、
キャッチコピーも花咲線の魅力を伝える。



1998年夏／撮影地：落石駅付近



2000年夏／撮影地：厚床駅



2012年冬／撮影地：厚岸～糸魚沢駅間



花咲人 *Premium*

少年のロマンを乗せて。

サルオガセという植物を知っていますか。釧路から根室に向かう車窓から見たあの地衣類は、私に何かロマンを与えてくれるのです。

初めて出会ったのは、終戦の翌年の3月で、中学2年の終わり頃。ずっと暮らしていた函館から、父の赴任先である根室に向かう汽車の車窓から、私はそれを見たのです。

函館から根室まで、当時は汽車で約30時間もかかり、何回乗り継ぎをしたかも記憶にありませんが、背中や腰、尻の痛みや乗り物酔いと戦いながらようやく釧路に着きました。そこから根室までが長く、精神的にも落ち込んでいた、そんな時のことです。厚床を過ぎたあたりで、草原から一瞬のうちに、森林地帯の緑濃い風景に変わったのです。地吹雪が起きていたせいですが、車内の冷気が急に増したように思いました。あたりが薄暗く見える中、樹々の濃い緑が映え、その枝々に柔らかな衣でも着せるように、薄緑色のそれがかかっていたように見えました。今まで、見

たことのない光景は、少年だった私に衝撃を与えました。旅の疲れを一気に忘れ、新天地での暮らしに急に闘志がわいてきたのです。

それから、根室で中学、高校と過ごし、札幌の大学に進学して根室を離れましたが、根室は第二のふるさと。戻るたびにいつもこの景色のところで、昔を思い出し、新たな意欲に燃えたものです。今では、環境の変化のためか、ほとんど見ることができず残念ですが、私はサルオガセに感謝しています。

私は、未知のものに駆り立てられる人間なんだろうね。根室にはそれがあります。考古学が好きなのですが、この土地には我々の知らない太古からの歴史があつて、確かにここで暮らし、どこかに行ってしまった人々がいる。その痕跡を見つけ、思いを巡らしロマンを掻き立てられます。地元の人にも、もっと知ってほしいし、魅力を外へ伝えられたら素敵ですね。

私の好奇心の旅は、今も続いています。この車窓から、サルオガセを初めて見た時のように。

平賀 洋明

Hiraga Youmei さん



昭和5年(1930)10月15日生まれ。90歳。根室市名誉市民、JR札幌鉄道病院元院長、市立根室病院顧問。昭和24年に根室高校第一期生として卒業後、札幌医科大学へ進学。札幌鉄道病院に勤務し昭和62年(1987)からは院長として、社会ニーズに合った専門医療の向上に取り組み、平成17年(2005)からは、名誉院長として地域医療の発展に尽力。医師不足が深刻化した市立根室病院を手助けするため、平成19年(2007)に76歳にして顧問に就任。現在も月2回、札幌と根室を往復して診療に当たられている。

おめでとうの花が咲く

祝！

100年の歴史とロマンが
花咲線にはあります！
皆の誇りです！

釧路駅長

花咲線 全通 0周年

花咲線は、釧路駅を起点として、釧路市街地を縦断する路線です。その歴史は、1900年の開業から始まり、100年を迎えることになりました。この100年、花咲線は釧路市の発展と共に歩み、多くの思い出を刻みつけてきました。これからも、花咲線は釧路市の未来を支え、多くの人々の笑顔を支え続けていきます。

今年こそ、花咲線で新しい駅弁と共に根室まで行きたー！
祝百年！東の果てをのんびり揺られ、この当たり前が永く続きますように。
花咲線はいつだって僕を美しい世界へ連れていってくれる。この先もずっと。
他のローカル線とはちよっと違う雰囲気が好きです。おめでとうっちやいます！
ちよっとな探しの場にもなり、僕の活動に欠かせない土地になっています。
これからの未来へも、ずっと走り続けてくれる花咲線でありまっすうちに
100周年おめでとうっちや！次は100年目指して走り続けて欲しいー！
花咲線100周年おめでとうっちや！是非、北海道唯一の工、沢山の観光客、
沿線住民衆が、花咲線に通行して欲しいっちや！
100周年、栄耀と名譽を以て、花咲線に敬意を表す。花咲線は、釧路市の発展を支え、多くの人々の笑顔を支え続けていきます。

花咲線は、釧路駅を起点として、釧路市街地を縦断する路線です。その歴史は、1900年の開業から始まり、100年を迎えることになりました。この100年、花咲線は釧路市の発展と共に歩み、多くの思い出を刻みつけてきました。これからも、花咲線は釧路市の未来を支え、多くの人々の笑顔を支え続けていきます。

一人旅で途中下車しながら乗った花咲線。忘れられない贅沢な時間でした。
次は100年、日本の最東端を元気に走り続けてください。
光太郎

人や町並みが変わっても、続いてくれてありがとう。
neomikassumi

祝!

100年前の花咲線は
驚いていますか？
今も皆を乗せて
走っていますよ！

厚岸駅長

2021年に全通100周年を迎える花咲線に向けて、インスタグラムなどでお祝いメッセージを大募集しました。お寄せいただいた87（ハナ）の言葉で、花が咲きました。うれしい花束を受け取って、花咲線は走り続けます。

[illegible]

祝
10

釧路から根室まで飽きることのない絶景。ずっと、見ていたいです月

両親に花咲線の旅をプレゼント。ずっと、見ていたいです月

kimuhiro05

どこまでも続く広い大地とおおぞらの中、いつまでも走り続けてください。
大地を拓いた鉄路が、明るい未来を拓きますように。
風雪を乗り越え

つばな

のび太

根室行きはいつか満載、風情を乗せて、100周年おめでとう、

氷雪貼る、進行方向右側が私の旨。次なる1000年。

おめでと〜う〜00年。頑張っ
て、海線最高！百歳おめでと〜う。
海線最高！百歳おめでと〜う。

[illegible]

1900年

[illegible][illegible]

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

[illegible]

●花咲雪
（東京）

蘇州府志卷之四

た。

1

祝!

ありがとう！花咲線！
これからも花咲く路線で
あり続けてください！

根室駅長



石狩平野の北部、滝川駅から終着の根室駅まで全長443.8kmを結ぶ根室本線。そのうち釧路～根室間135.4kmの愛称が『花咲線』です。約2時間半の乗車中、車窓には原生林や厚岸湖、湿原、落石海岸などダイナミックな風景が続く、まさに地球を楽しむアトラクションともいえる路線。

時刻表など、花咲線への
アクセスはこちら

